

学会記事

◎第4回理事会（昭.34.9.28）出席者：田中会長、本間、富樫両副会長、尾之内、藤村、田中、比田、小野、末森の各理事。報告事項：9月26日までの各種委員会、諸行事、会計、刊行物の報告。協議事項：1) 現存委員会に属さない図書出版について紹介等があつた場合は、その内容を検討して価値ありと認めたものについて、学会は臨時小委員会を設けて刊行に協力すること。2) 日本学士院会員候補者推薦については鷹部屋福平氏を推薦すること。3) 委員委嘱について、文献調査委員会追加安芸周一君、会誌編集委員会高橋浩二君の後任三浦誠夫君。4) 國際会議報告講演会の計画：国際水理学会議、国際道路会議それぞれ出席者が帰国の上計画すること。5) 土木工学英文論文集を編集し海外に紹介の計画をすること。6) 8月分会員入退会を承認。

◎各種委員会

1. 第4回会誌編集小委員会（昭.34.9.8）出席者：井口副委員長、都、田村両委員、深谷幹事。議事：1) 44巻9号口絵写真を決定、2) ニュースの選定、3) 44巻10号の内容を最終的に確認した（84ページ）。

2. 第4回会誌編集委員会（昭.34.9.22）出席者：井口副委員長、末森専務理事、高橋（代三浦）、田村、諫山（代佐藤）、吉田、堺、寺島（代鶴見）、米沢（代土屋）、梅野（代大河原）、奥村、中村、樋口（代佐藤）、後藤（東北）の各委員、深谷幹事。議事：1) 投稿原稿審査報告、2) 新規受付原稿審査委員の決定、3) 依頼原稿処理報告、4) 高橋浩二委員の後任に三浦誠夫氏（国鉄施設局土木課）を決定、5) 44巻11号登載原稿を次のとおり予定した。

成岡昌夫・他2名：滝野大橋（連続格子桁橋）の載荷実験について、多谷虎男：Geogimeterによる精密長距離測定の普遍的方法並びに精度について、奥村敏恵：高張力鋼における溶接熱量の影響、岡本舜三：第3回地盤工学研究発表会を終つて、吉藤幸輔：特許法改正の要点。

3. 第2回論文集各部委員会（昭.34.9.15）出席者：第1部会；奥村部会長、井上、君島（代）、大久保、伊藤（文）、田島の各委員、第2部会；竹内部会長、嶋、光易、藤波、木村、青田、伊藤（和）の各委員、第3部会；最上部会長、比留間、森、高橋、渡辺、山口の各委員、第4部会；丸安部会長、大島、佐藤、藤井、松原、斎藤の各委員、徳平編集幹事。議事：1) 投稿原稿の審査報告および新規受付原稿審査委員の決定、2) 定期論文集は規定ページ数を厳守し、これを審査の基準にするよう申し合わせた、3) その他。

4. 第2回論文集部会長会（昭.34.9.23）出席者：最上委員長、末森専務理事、丸安、奥村、竹内、田島、千秋、山口、細井の各委員、徳平編集幹事。

議事：1) 各部会報告、2) 論文集65号登載原稿の予定、3) 65号・別冊として3編を予定した、4) 論文審査基準につき協議した、5) その他。

5. 第4回文献調査委員会（昭.34.9.7）出席者：樋口委員長、国広、日野、南雲、高野、徳田、片山（代小合）、伊能、安芸の各委員、矢島前幹事、佐藤幹事。議事：1) 44巻10号登載文献抄録および目録の選定、2) 文献調査委員会に対するアンケートの回答結果について、3) 矢島委員（兼幹事）の後任に安芸周一氏（電力技術研究所）を決定した、4) その他。

6. フライアッシュ小委員会（昭.34.9.1）出席者：國分委員長、三浦、杉木、太賀、水越（代知久）、閔、河原、高野、左右田、平野（生）、高橋、本間、光岡、武藤、平野（代石川）、久木田、石垣の各委員、臨時参加岡部（中電）、国武（九電）、柳川（小野田）の各氏。議事：1) 各委員より共通試験結果の発表があつた。2) 過去3回にわたる共通試験の結果をとりまとめ学会に投稿する。なお各委員の研究されたそれぞれの成果をとりまとめ学会論文集として発表したらとの委員長の意見に対して、各委員異議なく了承。3) 今後の方針としては、コンクリートの中性化と、鉄筋の防錆との関係について試験することとして、早急に原案を作製すること。4) フライアッシュに関する既往の文献を調査して、文献集リストを作ることとした。5) フライアッシュを用いたコンクリート構造物の一覧リストを作ることとした。見学会：9月1日会議終了後出発して電源開発奥只見建設所の工事を見学、2日帰京した。参加者20名。

7. 第30回耐震工学委員会（昭.34.9.10）出席者：沼田委員長、岡本、伊藤、友永、高田、篠原武司（代）、篠原清（代）、星埜、水越の各委員、久保幹事、小寺技師、議事：1) WCEEの論文について報告、2) 久保慶三郎幹事を委員兼幹事とする、3) 研究発表会の司会者を決めた、4) 委員会の内規は理事会で承認された、5) 国鉄委託研究「耐震設計に関する研究」の専門委員を設け委員会の偏成ならびに運営方針を計画することとした。

6) 鉄道橋の震度について友永委員の話があつた。7) 次回は10月15日とする。

8. 国鉄委託耐震設計準備委員会（昭.34.9.18）出席者：専門委員：久保、小寺、森本（代御巫）、伯野、笹沼、伊藤、御牧、後藤、野沢、土屋の各氏。本委員会：沼田、岡本、小西（代山田）、友永、星埜、篠原（武）の各委員。議事：1) 久保委員があらかじめて研究内容について説明、2) 各分野における設計震度の資料を集めること、3) 次の地震についての震害資料を集めること、関東地震（小寺委員）、福井地震（伊藤委員）、十勝沖地震（久保委員）、今市地震（久保委員）、南海道地震（笹沼委員）、4) 震度による設計の歴史についての資料を集めること、5) 次回を10月23日とし委員会を構成すること。

○講演会

- 1) 第6回橋梁・構造工学研究発表会 (プレストレス構造に関する研究) 期日: 9月14日 9.00~16.50時 会場: 日本学術会議講堂 出題: 17題 参加者: 約130名
- 2) 第3回材料試験連合講演会 期日: 9月15~16日両日共 9.00~18.00時 会場: 日本学術会議講堂および会員控室 出題: 金属材料46題, 非金属材料および一般45題, 特別講演1題, 参加者: 各日 約240名。
- 3) 第3回地震工学研究発表会 期日: 9月17~18日両日共 9.00~16.30時, 会場: 土木学会々議室, 出題一般2, 土質7, 港湾4, 橋梁7, ダム7, 特別講演2, 参加者: 延べ人員 国鉄31, 運輸省29, 建設省11, 市5, 電力24, 学校32, 業界12, その他4, 計148名。

支部だより

関西支部

(1) アルバートソン教授特別講演会

- 1) 日時: 昭.34.9.5日 10~12時
- 2) 場所: 京都大学基礎物理研究所3階(湯川記念館)
- 3) 講師: 米国コロラド州立大学教授, 委託研究部長, 水理実験所長 モーリス L. アルバートソン博士
- 4) 演題: 1. 流砂水路における水路床形状 2. マニホールド型エネルギー減殺池とエネルギー減殺の一般問題
- 5) 聴講料: 無料, 6) 参加者: 53名。

(2) 新しい衛生工学に関する講演会 (昭.34.9.5) 中央電気俱楽部において

1) 題目と講師:

1. 衛生工学の一般理念 京都大学教授 医博 庄司 光
2. 大気汚染について 大阪大学名誉教授 医博 梶原 三郎
3. 公共水域の水質保全 京都大学教授 工博 岩井 重久
4. 水質の試験と管理 大阪市水質試験所長 理博 近藤 正義
5. し尿とごみの処理 神戸市建設局下水部長 海淵義之助
6. 淀川原水質の悪化と緩速ろ過法 大阪市水道局長 清水 清三
7. 下水処理法の最近の傾向 大阪市土木局長 西村 豊

会員入退会について (昭. 34.9.30現在)

1. 入会 77名 (正62, 学13, 特21, 特31)
2. 退会 15名 (正14, 学1)
3. 転格 11名 (学より正へ11)

会員現在数 (昭. 34.9.30現在)

名譽員	賛助員	特1A	特1B	特1C	特2級	特3級	正員	学生員	増減	計
30	30	17	12	71	111	94	13 463	937	+62	14 765

正員 石川栄次郎君	電源開発KK技術委員	昭和34年9月9日逝去	74才
正員 竜田直三君	仙台鉄道工業KK取締役仙台支店長	昭和34年8月19日逝去	66才
正員 飯田義邦君	宮津商工会議所サービス部長	昭和34年6月22日逝去	64才
正員 常峰明君	水峰建設KK	昭和34年8月12日逝去	22才

昭和34年10月10日印刷

印 刷 者 大沼正吉

發行者 末森猛雄

定 価 100円

昭和34年10月15日発行

印 刷 所 株式会社

發行所 社団法人

振替 東京 16828番

土木学会誌 第44巻 第10号

東京都港区赤坂溜池5番地

東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園入口)

電話 (35) 5130・5138・5139番